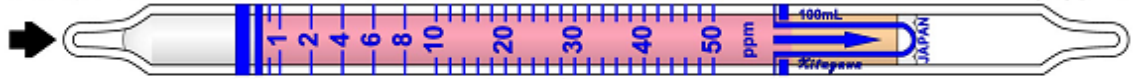


216S

酢酸

ガス入口

検知剤
(淡桃色)

仕様

測定範囲	0.5～125ppm
試料採取量	100mL (印刷目盛: 0.5～50ppm※) 50mL (温度補正值×2.5: 1.25～125ppm) ※0.5ppmの印刷目盛は数字の表記が無く、線のみになっています。
測定時間	1.5 分間/100mL
検知限度	0.2ppm
色の変化	淡桃色→黄色
反応原理	アルカリと反応し、指示薬が変色する。 $\text{CH}_3\text{COOH} + \text{Na}_2\text{SiO} \cdot n\text{H}_2\text{O} \rightarrow \text{CH}_3\text{CO}_2\text{Na} + \text{H}_2\text{O}$
有効期限	3 年
経年変化	変色層の境界が不明瞭になり、指示が高くなる。
使用温度範囲	0～40℃(温度補正あり)
湿度の影響	なし
校正方法	ガス拡散管法

他のガスの影響

妨害ガス	単独時	共存時
二酸化硫黄	類似の変色を示す	酢酸濃度の1/20倍以上で指示が高くなる
二酸化窒素	300ppm以上で類似の変色を示す	10ppm以上で変色の境界が不明瞭になる
塩化水素	桃色に変色する	酢酸濃度の2倍以上で指示が高くなる
塩素	青みがかった黄色に変色する	5ppm以上で指示が高くなる

・ギ酸は酢酸と同じ目盛で1～50ppmの濃度を測定できる。

・この検知管で15～25℃における下記の有害ガスの測定ができる。

測定対象ガス名	測定範囲	試料採取量
1) 無水酢酸	1～15ppm	100ml
2) イソ-吉草酸	3～50ppm	100ml
3) n-吉草酸	3～70ppm	100ml
4) イソ-酪酸	3～50ppm	100ml
5) n-酪酸	3～60ppm	100ml
6) プロピオン酸	3～50ppm	100ml
7) アクリル酸	1～50ppm	100ml
8) メタクリル酸	1～50ppm	100ml
9) 無水マレイン酸	0.2～10ppm	400ml